令和6年度　事後評価シート

【事務事業シート】

1

当初									
事　項	**庁舎等管理費**							予算主管課	農政課
事　業 概　要	西条第二庁舎の維持管理及び愛南庁舎並びに四国中央庁舎の使用料の支払い等を行う。							始期	2005
								終期	
K P I	**施設の維持管理上の不具合件数**								
	KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度
	R 4 年 度		目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件	目標値 0 件
	実績値	件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	件	実績値 件
	ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率 %
コ　ス　ト			最終現計予算額	60,276 千円	最終現計予算額	59,888 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額 千円
			決算額	52,537 千円	決算額	55,072 千円	決算額	千円	決算額 千円

6年度		
要因分析	要因	
	総括	
見直し方向性	維持	６年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、７年度以降も事前の点検活動の強化により、KPIは目標達成すると考えられることから、７年度の執行方法や８年度予算の見直しは想定していない。

2

当初,2月補正									
事　項	**経営体育成支援事業費**							予算主管課	農政課
事　業 概　要	人・農地プランの中心経営体や経営発展を目指す農業者など多様な経営体の育成・確保を図る上で必要となる、農業用機械や施設の導入等の整備に要する経費の一部を補助する。							始期	
								終期	
K P I	**事業実施者の付加価値額の目標達成率**								
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度
	R 4 年 度		目標値	80 %	目標値	80 %	目標値	80 %	目標値 80 %
	実績値	0 %	実績値	100 %	実績値	0 %	実績値	%	実績値 %
	ストック/フロー	フロー	達成率	125 %	達成率	0 %	達成率	%	達成率 %
コ　ス　ト			最終現計予算額	18,133 千円	最終現計予算額	0 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額 千円
			決算額	15,000 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額 千円

6年度		
要因分析	要因 国に採択されなかったことから、事業実績がないため。	
	総括	
見直し方向性	維持	令和６年度は、国に採択されなかったものの、引き続き農業者からの事業要望があれば、適切に対応する必要があると考える。

3

当初									
事　項	**農業遺産地域魅力向上事業費**							予算主管課	農政課
事　業 概　要	日本農業遺産「愛媛・南予の柑橘農業システム」の世界農業遺産認定に向けた活動に関係市町等と連携して取り組み、南予産柑橘等のブランド力向上や次代を担う若年層のシビックプライドの醸成を図る。							始期	2022
								終期	2026
Ｋ　Ｐ　Ｉ	**農業遺産保全計画の目標達成項目数**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度
	Ｒ４年度		目標値	16 項目	目標値	17 項目	目標値	18 項目	目標値 19 項目
	実績値	14 項目	実績値	13 項目	実績値	10 項目	実績値	項目	実績値 項目
	ストック/フロー	フロー	達成率	81.3 %	達成率	58.8 %	達成率	%	達成率 %
コ　ス　ト			最終現在予算額	千円	最終現在予算額	4,812 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額 千円
			決算額	千円	決算額	4,483 千円	決算額	千円	決算額 千円

6年度		
要因分析	要因 R5に保全計画を改定し、全19項目のうち2項目は最終年度であるR10の達成を目標としているため、現時点では評価が困難。残る17項目のうち、R6年度末時点で達成できたのは10項目にとどまったが、地域主体による景観保全活動など一部の取組が想定よりも進捗せず、課題が残る結果となった。 　ただし、未達項目についても目標に対して約75%程度は達成しており、一定の進展は認められることから、今後は協議会会員による活動をより一層支援し、未達項目の解消に努めていく。 　なお、農業遺産の継承者である新規就農者の確保については、目標を上回る成果が確認されており、農業遺産の保全に資する具体的な取組が地域ごとに着実に展開されていると認識している。	
	総括	
見直し方向性	維持	農業遺産という切り口から南予の伝統的なかんきつ農業を普及・啓発する本事業は、地域の持続的な農業振興に資する取組であり、地域住民や若年層への理解促進にも一定の役割を果たしている。また、将来的な世界農業遺産認定を見据えた基盤づくりの観点からも、引き続きその意義や効果を踏まえながら、適切に運用していくことが重要と考えている。

4

当初									
事　項	**野菜・花き等産地供給力強化支援事業費**							予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	野菜・花き等産地の供給力強化や持続可能な食料システムの構築に向け、県野菜・花き振興計画に定める主要品目の収量向上や有機農業面積の拡大等に必要な施設・機械の導入経費の一部を補助する。							始期	2021
								終期	2025
Ｋ　Ｐ　Ｉ	**系統組織におけるさといも・きゅうり及び有機野菜の栽培面積**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度
	Ｒ４年度		目標値	395.8 ha	目標値	414.8 ha	目標値	433.8 ha	目標値 ha
	実績値	369.5 ha	実績値	380.9 ha	実績値	379.1 ha	実績値	ha	実績値 ha
	ストック/フロー	フロー	達成率	96.2 %	達成率	91.4 %	達成率	%	達成率 %
コ　ス　ト			最終現在予算額	18,734 千円	最終現在予算額	22,220 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額 千円
			決算額	14,425 千円	決算額	18,558 千円	決算額	千円	決算額 千円

6年度		
要因分析	要因 さといも：２～3月において降雨日多く定植準備（畝立て）ができなかったこと、定植後の多雨による種芋の腐敗及び夏季の高温干ばつによる生育不良が、未達成の要因となった。 有機野菜：高温の影響で病害虫の発生が多く、新規に取組む予定者が取りやめたことが、未達成の要因となった。	
	総括	
見直し方向性	維持	気象条件により既存の産地は栽培面積が減少したが、新しい産地においては栽培面積が順調に増加していることから、令和７年度予算の執行方法の見直しは検討していない。

5

当初,2月補正										
事　項	**かんきつ流通施設強化支援事業費**								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	かんきつの選果・流通の高度化により果実供給力を強化するため、広域選果体制を構築したうえで、必要な先端技術の導入を図る集出荷貯蔵施設の整備に要する経費の一部を補助する。								始期	2024
									終期	2030
Ｋ　Ｐ　Ｉ	**温州みかんの市場販売額**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度	
	Ｒ４年度		目標値	115.7 億円	目標値	121 億円	目標値	126.2 億円	目標値	126.2 億円
	実績値	110.7 億円	実績値	121 億円	実績値	92 億円	実績値	億円	実績値	億円
	ストック/フロー	フロー	達成率	104.6 %	達成率	76.0 %	達成率	%	達成率	%
コ　ス　ト			最終現在予算額	千円	最終現在予算額	1,543,895 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	千円	決算額	2,945 千円	決算額	千円	決算額	千円
６年度	要因分析	要因 R6年度は気象要因や病害虫被害、鳥獣害等により生産量・市場販売量が異常に少なく、単価は過去最高値だったが、市場販売額は目標を下回った。								
		総括								
	見直し方向性	維持	R6年度は気象要因や病害虫被害、鳥獣害等により収穫量が異常に少なかった年であり、７年度の執行方法や８年度予算の見直しは想定していない。							

6

当初										
事　項	**かんきつ園地施設化支援事業費**								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	高品質果実の供給力を強化するため、樹園地の再編に併せて施設栽培の産地化を図る取組みに要する経費の一部を補助する。								始期	2024
									終期	2030
Ｋ　Ｐ　Ｉ	**高品質かんきつの施設栽培面積**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度	
	Ｒ４年度		目標値	ha	目標値	1.03 ha	目標値	1.66 ha	目標値	5.71 ha
	実績値	0 ha	実績値	0 ha	実績値	1.03 ha	実績値	ha	実績値	ha
	ストック/フロー	フロー	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
コ　ス　ト			最終現在予算額	千円	最終現在予算額	85,412 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	千円	決算額	55,380 千円	決算額	千円	決算額	千円
６年度	要因分析	要因 本事業の実施により、高品質かんきつの施設栽培面積が目標どおり1.03ha増加したため、達成となった。								
		総括								
	見直し方向性	維持	R6年度のKPI実績は、目標どおりの成果が出ており、R7年度以降もKPI目標を達成すると考えられるため、R7年度の執行方法やR8年度予算の見直しは想定していない							

7

当初										
事　項	**果樹産地整備事業費**								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	国産農産物の安定供給体制を構築し、産地としての持続性を確保するため、高品質・高付加価値化、低コスト化に資する高機能な集出荷貯蔵施設の整備や産地パワーアップ計画に基づき生産者等が実施するハウス施設等の整備に要する経費の一部を補助する。								始期	2024
									終期	2026
Ｋ Ｐ Ｉ	**産地パワーアップ計画や国事業計画に掲げられた施設・設備整備進捗率**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	%	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
	実績値	100 %	実績値	%	実績値	100 %	実績値	%	実績値	%
	ストック/フロー	フロー	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
コ ス ト			最終見込予算額	千円	最終見込予算額	254,211 千円	最終見込予算額	千円	最終見込予算額	千円
			決算額	千円	決算額	234,671 千円	決算額	千円	決算額	千円
６年度	要因分析	要因 事業実施により、目標どおり施設・設備が整備されたため、達成となった。								
		総括								
	見直し方向性	維持	R6年度のKPI実績は、目標どおりの成果が出ており、R7年度以降もKPI目標を達成すると考えられるため、R7年度の執行方法やR8年度予算の見直しは想定していない							

8

当初										
事　項	**えひめ食農教育推進事業費**								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	各地域の経済活動を活性化させる女性リーダーを育成することで、地域間・世代間を超えた食文化の普及・伝承活動などを展開するとともに、地域農産物の生産拡大と利用促進を図る。								始期	2005
									終期	2027
Ｋ Ｐ Ｉ	**えひめ食文化普及講座を受講後のアンケートで、「もう１度食べてみたい」と思う割合**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	90 %	目標値	90 %	目標値	90 %	目標値	90 %
	実績値	85 %	実績値	92 %	実績値	90 %	実績値	%	実績値	%
	ストック/フロー	フロー	達成率	102.22 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
コ ス ト			最終見込予算額	1,093 千円	最終見込予算額	1,390 千円	最終見込予算額	千円	最終見込予算額	千円
			決算額	1,093 千円	決算額	1,182 千円	決算額	千円	決算額	千円
６年度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	６年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの結果が出ており、７年度は食文化普及講座の継続開催に加え、これまで作成した郷土料理の調理動画やレシピ集を活用した食育活動を行う予定であり、KPIは目標達成すると考えられることから、執行方法や予算の見直しは想定していない。							

9	当初	事　項	**儲かるモデル産地育成システム確立推進事業費**							予算主管課	農産園芸課
		事　業 概　要	普及組織が普及指導計画（産地づくりビジョン）の目標を達成し、儲かるモデル産地育成システムを確立するため、産地が戦略的に実施するトップ層における先進技術のミドル層での技術実証や、流通販売促進の取組みに要する経費の一部を補助する。							始期	2023
										終期	2027
		Ｋ Ｐ Ｉ	**戦略品目の販売額（対R4年度比）**								
			KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
			Ｒ ４ 年 度		目標値	4 %増	目標値	8 %増	目標値	12 %増	目標値	16 %増
			実績値	%増	実績値	7 %増	実績値	8.1 %増	実績値	%増	実績値	%増
			ストック/フロー	フロー	達成率	175 %	達成率	101.3 %	達成率	%	達成率	%
		コ ス ト			最終現在予算額	13,000 千円	最終現在予算額	12,000 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
					決算額	9,030 千円	決算額	6,851 千円	決算額	千円	決算額	千円
	6年度	要因分析	要因								
			総括								
		見直し方向性	維持	目標とする生産額は、変動要因もあることから、当初の計画どおり着実な目標達成を目指す。							

10	当初	事　項	**リアルタイム農業普及指導ネットワーク構築事業費**							予算主管課	農産園芸課
		事　業 概　要	生産現場と指導機関等を高画質映像等を活用したネットワークで結び、専門家の助言による高いレベルの診断や指導がリアルタイムで可能となるシステムを実用化する。							始期	2019
										終期	2027
		Ｋ Ｐ Ｉ	**システムによる指導件数**								
			KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
			Ｒ ４ 年 度		目標値	96 件	目標値	1200 件	目標値	3000 件	目標値	4800 件
			実績値	件	実績値	42 件	実績値	1253 件	実績値	件	実績値	件
			ストック/フロー	フロー	達成率	43.8 %	達成率	104.4 %	達成率	%	達成率	%
		コ ス ト			最終現在予算額	15,326 千円	最終現在予算額	13,611 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
					決算額	15,065 千円	決算額	14 千円	決算額	千円	決算額	千円
	6年度	要因分析	要因								
			総括								
		見直し方向性	大幅見直し（事業組替等）	普及指導に不可欠となったネットワークを、より多くの農業者への普及指導等に活用していくためには、操作性や機能性を向上させ、ランニングコストも低減できるシステムへの更新が必要であるため、令和8年度においては、新たなソフトウエアへの切替えによりネットワークの維持拡大を図り、更なる成果の向上につなげる。							

11

当初										
事　項	**みどりの食料システム戦略推進事業費**								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	国の「みどりの食料システム戦略」において掲げられた目標に向け、県計画・方針に基づき、有機農業への転換支援など、有機資源利用や化学肥料・農薬の削減等の推進を図る。								始期	2023
									終期	2026
Ｋ Ｐ Ｉ	**特別栽培農産物等取組面積及び有機農業取組面積**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	1492 ha	目標値	1526 ha	目標値	1560 ha	目標値	1594 ha
	実績値	1236 ha	実績値	1232 ha	実績値	1224 ha	実績値	ha	実績値	ha
	ストック/フロー	フロー	達成率	82.6 %	達成率	80.2 %	達成率	%	達成率	%
コ ス ト			最終現在予算額	32,917 千円	最終現在予算額	32,476 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	20,309 千円	決算額	25,875 千円	決算額	千円	決算額	千円
6年度	要因分析	要因 2024年度の特別栽培農産物等取組面積は748ha（前年比98%）、有機農業取組面積は476ha(前年比101%)となった。温暖化の影響により病害虫が発生しやすい環境となっていることにより、農薬削減が困難になっていることが影響していると思われる。								
		総括								
	見直し方向性	維持	有機農業振興に関する補助事業の拡充に加え、国のみどり交付金を活用して環境負荷低減に係る事業を拡大し、KPIの向上を図る。							

12

当初										
事　項	**未利用資源を活用した有機肥料の開発利用促進事業費（東予）**								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	国際情勢の影響を受けやすく、地力低下の要因にもなる化学肥料に依存した農業からの脱却を図るため、東予地域の未利用資源を原料とした有機肥料の開発、利用を促進し、化学肥料の低減を目指す。								始期	2024
									終期	2026
Ｋ Ｐ Ｉ	**開発有機肥料の導入面積**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	0 ha	目標値	0 ha	目標値	0 ha	目標値	250 ha
	実績値	ha	実績値	ha	実績値	0 ha	実績値	ha	実績値	ha
	ストック/フロー	フロー	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
コ ス ト			最終現在予算額	千円	最終現在予算額	1,434 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	千円	決算額	1,098 千円	決算額	千円	決算額	千円
6年度	要因分析	要因 東予地域の未利用資源を活用した肥料の試作を開始した。R7年度から現地栽培実証し、２か年の実証結果をもとに肥料を販売開始予定。 肥料が販売開始されていないため、R6年度、R7年度は目標、実績ともに０となる。								
	見直し方向性	維持	R6年度は肥料の開発を行っており、R7年度の執行から現地での試作肥料の現地実証を行うため、肥料の販売までには至らない。 R7年度については予算要求時と同様のKPIで維持となる。							

13

当初										
事　項	**観賞用ユーカリ産地拡大事業費（中予）**							予算主管課	農産園芸課	
事　業 概　要	全国有数のユーカリ産地である中予地域の産地拡大を推進するため、苗供給体制及び安定生産技術を確立し、供給力の向上を図る。							始期	2022	
								終期	2024	
Ｋ Ｐ Ｉ	**中予地域のユーカリ栽培面積**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	15 ha	目標値	16 ha	目標値	0 ha	目標値	0 ha
	実績値	13.8 ha	実績値	15.5 ha	実績値	17.2 ha	実績値	ha	実績値	ha
	ストック/フロー	フロー	達成率	103.33 %	達成率	107.5 %	達成率	%	達成率	%
コ ス ト			最終現在予算額	1,601 千円	最終現在予算額	1,601 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	1,400 千円	決算額	1,496 千円	決算額	千円	決算額	千円
6年度	要因分析	要因								
		総括 株枯れ症状の課題解決に取り組み、ユーカリ栽培面積が拡大し目標達成した。今後も、継続して面積拡大する見込みである。								
	見直し方向性									

14

当初										
事　項	**パクチー周年安定生産体制確立事業費（中予）**							予算主管課	農産園芸課	
事　業 概　要	収益性が高く市場で優位性が期待できるパクチーについて、産地を東温市から中予地域に拡大させ、周年安定生産体制を確立することで、全国有数の産地形成を図る。							始期	2022	
								終期	2024	
Ｋ Ｐ Ｉ	**中予地域のパクチー生産者数**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	15 人	目標値	20 人	目標値	0 人	目標値	人
	実績値	13 人	実績値	17 人	実績値	21 人	実績値	人	実績値	人
	ストック/フロー	フロー	達成率	113.33 %	達成率	105 %	達成率	%	達成率	%
コ ス ト			最終現在予算額	1,666 千円	最終現在予算額	1,666 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	1,374 千円	決算額	1,386 千円	決算額	千円	決算額	千円
6年度	要因分析	要因								
		総括 目標生産者数を達成できた。 今後も周年安定生産体制の維持、発展とブランド力向上のため、継続的な新規栽培者の確保と栽培技術のレベルアップが必要である。								
	見直し方向性									

15

当初									
事　項	**久万高原地域食材伝承事業費（中予）**							予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	久万高原地域の活性化のため、地域で古くから栽培・利用されている雑穀の生産増加を図り、貴重な地域食材を伝承する。							始期	2022
								終期	2024
Ｋ Ｐ Ｉ	**久万高原における雑穀の栽培者数**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
	Ｒ ４ 年 度		目標値	17 人	目標値	20 人	目標値	0 人	目標値 0 人
	実績値	14 人	実績値	17 人	実績値	23 人	実績値	人	実績値 人
	ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	115 %	達成率	%	達成率 %
コ ス ト			最終現在予算額	1,271 千円	最終現在予算額	1,271 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額 千円
			決算額	1,037 千円	決算額	1,097 千円	決算額	千円	決算額 千円

6年度		
要因分析	要因	
	総括 目標の栽培者数を達成し、生産振興を図ることができた。また、雑穀を使用した郷土料理の伝承や、商品の開発・販売により新たな需要を創出した。 今後も雑穀の栽培者数と需要は拡大する見込みである。	
見直し方向性		

16

当初									
事　項	**「媛かぐや」産地育成事業費（中予）**							予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	栽培が難しく生産量が少ないさといも「媛かぐや」について、栽培体系の構築と加工事業者等と連携した需要創出に取り組むことで、水稲転作高収益モデルを確立し、伊予地区の水田地帯で産地を育成する。							始期	2023
								終期	2025
Ｋ Ｐ Ｉ	**中予地域の媛かぐや栽培面積**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
	Ｒ ４ 年 度		目標値	6 a	目標値	22 a	目標値	40 a	目標値 a
	実績値	2 a	実績値	6 a	実績値	17 a	実績値	a	実績値 a
	ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	77 %	達成率	%	達成率 %
コ ス ト			最終現在予算額	1,198 千円	最終現在予算額	1,198 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額 千円
			決算額	1,084 千円	決算額	1,133 千円	決算額	千円	決算額 千円

6年度		
要因分析	要因 2023年度にセル苗定植による栽培安定化を実施したことにより初期生育は順調に推移したものの、夏季の高温および冬季の低温による種芋不足により、2024年度の定植面積は目標の77%となり、目標未達となった。	
	総括	
見直し方向性	維持	令和６年度目標（栽培面積20ａ）に対して、17ａの実績となり、おおむね達成している状況であり、７年度も新規栽培者の掘り起こしを行い、更なる成果の向上に努める。

17

当初										
事　項	**さくらひめ産地強化事業費（中予）**								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	「さくらひめ」の収益向上のカギとなる卒業式等の需要期出荷に欠かせない夏季の自家育苗技術を確立するとともに、生産者から消費者を結ぶ販売体系を構築し、生産者の収益向上を図る。								始期	2023
									終期	2025
Ｋ Ｐ Ｉ	**中予地域の夏季自家育苗に取り組んでいる「さくらひめ」生産者割合**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	10 %	目標値	15 %	目標値	25 %	目標値	%
	実績値	- %	実績値	12.5 %	実績値	20 %	実績値	%	実績値	%
	ストック/フロー	ストック	達成率	125 %	達成率	133 %	達成率	%	達成率	%
コ ス ト			最終現在予算額	1,089 千円	最終現在予算額	1,089 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	1,054 千円	決算額	990 千円	決算額	千円	決算額	千円
6年度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	6年度のKPIは目標を達成しており、7年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、7年度の執行方法の見直しは想定していない。							

18

当初										
事　項	**高級菓子用くだもの産地確立事業費（南予）**								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	高級菓子用くだものの産地化を図るため、和菓子メーカーと宇和島圏域3市町及びJAとの連携を一層強化するとともに、加工用に特化した省力･多収技術の確立を図る。								始期	
									終期	
Ｋ Ｐ Ｉ	**南予地域の高級菓子用くだもの販売額**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	25.6 百万円	目標値	26.7 百万円	目標値	0 百万円	目標値	0 百万円
	実績値	16.6 百万円	実績値	24 百万円	実績値	13.9 百万円	実績値	百万円	実績値	百万円
	ストック/フロー	フロー	達成率	93.75 %	達成率	52.1 %	達成率	%	達成率	%
コ ス ト			最終現在予算額	1,100 千円	最終現在予算額	1,100 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	1,074 千円	決算額	927 千円	決算額	千円	決算額	千円
6年度	要因分析	要因 想定以上の害虫及び鳥獣害の被害、気象条件により生産量が予定以上に低下した。								
		総括 春先の気象、10年に1回の害虫の被害、鳥獣害の被害が起き、対策を行ったものの生産量が減少した。								
	見直し方向性									

19

当初										
事　項	「南予の媛小春」魅力アップ事業費（南予）								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	栽培上の課題に対する技術的対策と媛小春の特長を生かした直販向け品目としての販路拡大支援により、栽培面・販売面の優位性を立証し、品種の多い南予らしさを発揮した柑橘王国のラインナップの充実を図り、所得増加及び愛媛県産かんきつファンの拡大につなげる。								始期	
									終期	
Ｋ　Ｐ　Ｉ	南予地域の媛小春年間生産量									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度	
	Ｒ４年度		目標値	12 t	目標値	18 t	目標値	25 t	目標値	0 t
	実績値	10 t	実績値	25.5 t	実績値	35 t	実績値	t	実績値	t
	ストック/フロー	フロー	達成率	212.5 %	達成率	194.4 %	達成率	%	達成率	%
コ　ス　ト			最終現在予算額	1,000 千円	最終現在予算額	1,000 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	908 千円	決算額	883 千円	決算額	千円	決算額	千円
6年度	要因分析	要因								
		総括 生産量拡大のため、生産者等関係者で協議会を組織し、各種実証ほや貯蔵試験等での調査結果を共有した。また、販売支援対策として県内外でのPR活動や加工品を開発した。その結果、生産量が35ｔになった（目標生産量18ｔ）。 さらなる生産量拡大と知名度向上のため、R7年度以降も組み換え新規事業として継続している。								
	見直し方向性									

20

当初										
事　項	南予地域鳥類被害低減促進事業費（南予）								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	南予地域は鳥類によるかんきつ被害が県内最大で、深刻な状況にあるため、高周波技術等を活用した「音のバリア」による新たな手法をモデル的に導入し、高級柑橘類等に対する鳥類被害を低減することで、かんきつ王国えひめの維持・発展を図る。								始期	2024
									終期	2025
Ｋ　Ｐ　Ｉ	モデル園地の鳥類による果樹被害割合									
	KPI種別	下がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度	
	Ｒ４年度		目標値	12 %	目標値	9 %	目標値	6 %	目標値	0 %
	実績値	12 %	実績値	11 %	実績値	9 %	実績値	%	実績値	%
	ストック/フロー	フロー	達成率	109.1 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
コ　ス　ト			最終現在予算額	千円	最終現在予算額	2,046 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	千円	決算額	2,024 千円	決算額	千円	決算額	千円
6年度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	2024 年度の KPI の実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、 次年度は今年度の結果を踏まえ適切な時期に機器を設置し、適期に収穫することなどで、 KPI は目標達成すると考えられることから見直しは想定していない。							

21

当初									
事　項	**未来型果樹産地強化支援事業費**							予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	県果樹農業振興計画に基づき、未来型果樹園を核とした園地力・商品力の向上を推進するとともに、西日本豪雨災害からの復旧園地の生産力強化に向けた取組みに要する経費の一部を補助する。							始期	2021
								終期	2025
Ｋ Ｐ Ｉ	**果実生産量**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
	Ｒ ４ 年 度		目標値	225750 t	目標値	229040 t	目標値	232330 t	目標値 232330 t
	実績値	209758 t	実績値	221324 t	実績値	205064 t	実績値	t	実績値 t
	ストック/フロー	フロー	達成率	98.04 %	達成率	89.5 %	達成率	%	達成率 %
コ ス ト			最終現在予算額	87,252 千円	最終現在予算額	88,269 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額 千円
			決算額	86,051 千円	決算額	59,922 千円	決算額	千円	決算額 千円
6年度	要因分析	要因 担い手の減少や高齢化が進む中、温州みかんが裏年傾向だったことから、9割程度の達成率となった。							
		総括							
	見直し方向性	改善	生産者の本事業に対する要望量は依然として多いため、事業組替のタイミングとなる令和8年度については、現場のニーズに基づいた事業内容やメニューとなるよう見直しを進める。						

22

当初									
事　項	**紅プリンセス生産支援事業費**							予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	「紅プリンセス」の生産力強化を図るため、ブランド果実の生産拡大や高品質化のための施設整備を支援するとともに、生産現場の環境に応じた栽培特性調査や生理障害等の発生軽減技術の実証を行い、高品質安定生産技術の確立を図る。							始期	2023
								終期	2025
Ｋ Ｐ Ｉ	**紅プリンセス（愛媛果試第48号）栽培面積**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
	Ｒ ４ 年 度		目標値	90 ha	目標値	120 ha	目標値	140 ha	目標値 160 ha
	実績値	62.9 ha	実績値	81.7 ha	実績値	ha	実績値	ha	実績値 ha
	ストック/フロー	フロー	達成率	90.8 %	達成率	%	達成率	%	達成率 %
コ ス ト			最終現在予算額	千円	最終現在予算額	22,007 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額 千円
			決算額	千円	決算額	16,923 千円	決算額	千円	決算額 千円
6年度	要因分析	要因 R6(2024)年度数値は、R7年度3月(R8年3月)にとりまとめ予定							
		総括							
	見直し方向性	改善	R6年度から安定生産技術の実証に取り組んでおり、R7年度からは商標保護にも取り組む。現場課題の把握や高品質生産技術の普及、商標の活用により、紅プリンセスの生産量や評価を向上させ、農家の生産意欲を高めて、目標値の達成を目指す。						

23	当初	事　項	**傾斜園地作業効率化モデル整備事業費**							予算主管課	農産園芸課
		事　業 概　要	大規模な園地整備と併せて、次世代に優良な柑橘園地を継承していくため、園地の緩傾斜化などの生産性の高いモデル園地の整備に要する経費の一部を補助する。							始期	
										終期	
		K　P　I	**自主施工により傾斜を緩和したモデル園地面積**								
			KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度
			R 4 年 度		目標値	82 a	目標値	120 a	目標値	0 a	目標値	0 a
			実績値	91 a	実績値	81.6 a	実績値	123.4 a	実績値	a	実績値	a
			ストック/フロー	フロー	達成率	68 %	達成率	102.8 %	達成率	%	達成率	%
		コ　ス　ト			最終現在予算額	13,760 千円	最終現在予算額	13,760 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
					決算額	10,986 千円	決算額	9,180 千円	決算額	千円	決算額	千円
	6年度	要因分析	要因 予定どおりモデル園4か所を施工することができ、KPIは目標値をやや上回った。								
			総括 予定どおり毎年度４園地ずつ（合計12園地）モデル園地を整備し、KPI（モデル園面積120a）を達成することができた。盛土規制法の施行により、自主施工に係る留意事項が増えたため、適切な対応について情報発信しつつ、今後も傾斜緩和による優良園地継承を図る。								
		見直し方向性									

24	当初,2月補正	事　項	**野菜生産出荷安定資金造成事業費**							予算主管課	農産園芸課
		事　業 概　要	野菜価格の低落に際して、生産者に価格保証を行うことにより、野菜農家経営の安定を図るために必要な資金を造成する。							始期	1966
										終期	
		K　P　I	**県内指定野菜産地の出荷計画量に対する出荷割合**								
			KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度
			R 4 年 度		目標値	80 %	目標値	80 %	目標値	80 %	目標値	80 %
			実績値	80 %	実績値	80 %	実績値	79.4 %	実績値	%	実績値	%
			ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	99.3 %	達成率	%	達成率	%
		コ　ス　ト			最終現在予算額	26,813 千円	最終現在予算額	3,234 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
					決算額	21,165 千円	決算額	3,234 千円	決算額	千円	決算額	千円
	6年度	要因分析	要因 令和６年度は、夏季の高温、干ばつの影響で野菜の生育が抑制され、出荷量が減少したことが未達成の要因となった。								
			総括								
		見直し方向性	維持	野菜価格の低落時に価格補填を行う制度として産地の安定に貢献していることから、7年度の執行方法の見直しは想定していない。							

25	当初	事　項	**再編復旧園発スマートアグリ推進事業費**							予算主管課	農産園芸課
		事　業 概　要	上浦地区再編復旧園を活用し、ロボット作業やデータに基づく栽培など、生産効率の高い未来型果樹園のモデル的な整備に要する経費の一部を補助することで、若い移住者等を新規就農者として呼び込む拠点として構築するとともに、耕作放棄地への横展開を図る。							始期	2023
										終期	2025
		Ｋ Ｐ Ｉ	**スマートアグリ園地面積**								
			KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
			Ｒ ４ 年 度		目標値	1 ha	目標値	6 ha	目標値	9 ha	目標値 ha
			実績値	0 ha	実績値	1 ha	実績値	5 ha	実績値	ha	実績値 ha
			ストック/フロー	ストック	達成率	100 %	達成率	83.3 %	達成率	%	達成率 %
		コ　ス　ト			最終現在予算額	3,566 千円	最終現在予算額	2,969 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額 千円
					決算額	2,700 千円	決算額	1,117 千円	決算額	千円	決算額 千円
	6年度	要因分析	要因 事業実施している再編復旧園で、想定外の土壌流亡が発生し、モデル園としてのPRが想定より減り、R6年度の横展開園が少なかったため、わずかに未達成となった。								
			総括								
		見直し方向性	維持	R6年度はわずかに目標を下回ったが、モデル園からの横展開へ向けた継続的な情報発信により目標達成が見込まれるため、R7年度の執行方法の見直しは想定していない。							

26	6月補正,12月補正	事　項	**施設園芸燃料高騰対策支援事業費**							予算主管課	農産園芸課
		事　業 概　要	燃料価格の高騰が長期化している中、県内施設園芸農家の負担軽減を図るため、セーフティネット構築事業に加入している農家に対して、燃料に係る経費の一部を補助する。							始期	2024
										終期	2024
		Ｋ Ｐ Ｉ	**施設園芸セーフティネット構築事業への加入件数**								
			KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
			Ｒ ４ 年 度		目標値	62 件	目標値	82 件	目標値	件	目標値 件
			実績値	37 件	実績値	67 件	実績値	68 件	実績値	件	実績値 件
			ストック/フロー	フロー	達成率	108.1 %	達成率	83 %	達成率	%	達成率 %
		コ　ス　ト			最終現在予算額	千円	最終現在予算額	12,070 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額 千円
					決算額	千円	決算額	1,245 千円	決算額	千円	決算額 千円
	6年度	要因分析	要因 国セーフティネット及び県事業を周知することで、新たに４件の申請がありＫＰＩの向上につながったが、既存申請者の体調不良により３件減少した。								
			総括								
		見直し方向性	維持	目標を達成できなかったが、農家負担が増加している現状を踏まえ、これまで申請の少なかった品目（いちご）の農家への施設園芸セーフティネット構築事業への加入を進めるため、執行方法の見直しは想定していない。							

27

当初										
事　項	**水田農業競争力強化支援事業費**								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	水田農業の活力の維持や持続的な発展に向け、水稲と麦を組み合わせた愛媛型二毛作体系の推進に要する経費の一部を補助するとともに、県産はだか麦の需要拡大に向けた各種取組みを実施する。								始期	2021
									終期	2025
Ｋ Ｐ Ｉ	**県米・麦・大豆生産振興ビジョンの栽培面積達成率**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	%
	実績値	97 %	実績値	99 %	実績値	101 %	実績値	%	実績値	%
	ストック/フロー	フロー	達成率	99 %	達成率	101 %	達成率	%	達成率	%
コ　ス　ト			最終現在予算額	42,000 千円	最終現在予算額	43,200 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	37,294 千円	決算額	40,856 千円	決算額	千円	決算額	千円

6年度		
要因分析	要因	
	総括	
見直し方向性	維持	６年度のKPIの実績は目標どおりの成果が出ており、継続して需要に応じた生産に取り組むことから、７年度の執行方法の見直しは想定しておらず、また、８年度以降については現場の実状に応じた新規予算を検討する。

28

当初										
事　項	**ひめの凜ブランド力強化事業費**								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	高品質な「ひめの凜」の安定生産に向け、共同乾燥調製施設の機能強化等に要する経費の一部を補助するとともに、県内外の消費者に「ひめの凜」を積極的にPRし、高品質生産体制の整備とブランド力の強化を図る。								始期	
									終期	
Ｋ Ｐ Ｉ	**ひめの凜栽培面積**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	750 ha	目標値	1000 ha	目標値	0 ha	目標値	0 ha
	実績値	505 ha	実績値	670 ha	実績値	1006 ha	実績値	ha	実績値	ha
	ストック/フロー	フロー	達成率	89.33 %	達成率	100.6 %	達成率	%	達成率	%
コ　ス　ト			最終現在予算額	51,010 千円	最終現在予算額	44,715 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	51,000 千円	決算額	42,350 千円	決算額	千円	決算額	千円

6年度		
要因分析	要因	
	総括 JAの共同乾燥調製設備の整備による集出荷体制の整備と県外向けプロモーションを含んだＰＲに取り組んだ結果、６年産では目標の1,000haを達成した。今後は更なる生産拡大のために、優良種子・優良苗の安定供給体制の強化や、効率的な高品質安定生産体制の確保、本県初の高級米としてブランド化の確立に取り組む必要がある。	
見直し方向性		

29

当初									
事　項	**経営所得安定対策等推進事業費**							予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	経営所得安定対策を推進するため、農業者等への普及啓発を行う協議会及び同対策を支援する市町に対し必要経費を補助する。							始期	2011
								終期	
Ｋ Ｐ Ｉ	**経営所得安定対策等加入申請件数**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
	Ｒ ４ 年 度		目標値	3800 件	目標値	3800 件	目標値	3800 件	目標値 3800 件
	実績値	3789 件	実績値	3434 件	実績値	3136 件	実績値	件	実績値 件
	ストック/フロー	フロー	達成率	90.37 %	達成率	82.5 %	達成率	%	達成率 %
コ ス ト			最終現在予算額	80,000 千円	最終現在予算額	80,000 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額 千円
			決算額	72,860 千円	決算額	70,786 千円	決算額	千円	決算額 千円
6年度	要因分析	要因 生産者の高齢化や担い手不足に加え、大規模農家への農地集積が進んでいることから、申請件数は減少傾向（R4年比82.8%）にあるため未達成となった。							
		総括							
	見直し方向性	改善	6年度の目標達成率が想定よりも低調であったことに加え、高齢化による農家戸数減少という現状を踏まえると7年度も同様の状況が見込まれるため、7年度の執行では、地域農業再生協議会に対する説明会において経営所得安定対策等の推進活動に取り組み、市町への指導を徹底し、対象の新規掘り起しを行い、更なる成果の向上につなげる。						

30

当初,2月補正									
事　項	**鳥獣害防止対策総合支援事業費**							予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	県、市町、関係団体等が連携し、被害防除施設の整備、捕獲活動などを進めるとともに、鳥獣害対策をけん引する「えひめ地域鳥獣管理専門員」や捕獲従事者の確保・育成を図るなど、鳥獣害防止に向けた総合的な対策を実施する。							始期	2011
								終期	2026
Ｋ Ｐ Ｉ	**野生鳥獣による農作物被害額**								
	KPI種別	下がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
	Ｒ ４ 年 度		目標値	375000 千円	目標値	366000 千円	目標値	357000 千円	目標値 350000 千円
	実績値	千円	実績値	367914 千円	実績値	345094 千円	実績値	千円	実績値 千円
	ストック/フロー	フロー	達成率	101.9 %	達成率	106.1 %	達成率	%	達成率 %
コ ス ト			最終現在予算額	千円	最終現在予算額	340,407 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額 千円
			決算額	千円	決算額	325,053 千円	決算額	千円	決算額 千円
6年度	要因分析	要因 侵入防止柵の設置により被害面積は前年比94%となり、ハード事業による侵入防止対策の効果が高い。また、有害鳥獣ハンター確保育成事業、捕獲隊等育成事業および愛媛地域鳥獣管理専門員育成事業において、捕獲強化による「攻め」や地域体制づくりを着実に実施した結果、捕獲による加害や獣害に強い農地環境づくりが進んだことも要因と推測する。							
		総括							
	見直し方向性	改善	各対策にバランスよく取り組んだことから目標達成につながったものと思われるが、ここで対策を弱めると再度被害額が高まることから現状を維持しながら今後もバランスよく各事業を執行していくことが必要である。						

31

6月補正									
事　項	捕獲獣流通円滑化促進事業費							予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	有害獣による農作物被害額が高止まりである上に物価高騰の影響を受けている中、万全な体制で組織的な捕獲を進めようとする捕獲隊等の活動強化のためのくくり罠の導入を追加補助するとともに、県内外でジビエの消費拡大を図るためのフェアを開催する。							始期	2024
								終期	2024
Ｋ Ｐ Ｉ	ジビエ利用頭数								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
	Ｒ ４ 年 度		目標値	1939 頭	目標値	3333 頭	目標値	頭	目標値	頭
	実績値	1858 頭	実績値	2763 頭	実績値	3263 頭	実績値	頭	実績値	頭
	ストック/フロー	フロー	達成率	142.5 %	達成率	97.9 %	達成率	%	達成率	%
コ ス ト			最終現在予算額	千円	最終現在予算額	32,800 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	千円	決算額	21,499 千円	決算額	千円	決算額	千円

6年度		
要因分析	要因 県内におけるイノシシ、ニホンジカの捕獲数は35000頭に上り、順調に捕獲数を伸ばしているが、ジビエとして流通するためには肉質等の条件があり、特に酷暑などで天然の餌が不足する時期や肉質が低下する時期には、ジビエとして流通する捕獲獣が減少することがある。今回、目標未達とはなったものの、達成率は98%でおおむね達成していると考えられる。	
	総括 くくり罠の購入に要する経費について定額補助を実施し、捕獲資材であるくくり罠増設による組織的な野生獣の捕獲強化を進めたところ、目標とする捕獲獣のジビエ利用頭数はおおむね達成し事業の目的である緊急的な捕獲強化は達成された。	
見直し方向性	廃止	

32

当初									
事　項	有害鳥獣総合捕獲事業費							予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル適正管理計画等に基づく効果的な有害鳥獣の捕獲を推進するため、市町が実施する有害鳥獣の捕獲奨励金交付事業に要する経費の一部を補助する。							始期	1977
								終期	
Ｋ Ｐ Ｉ	イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの年間捕獲頭数								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
	Ｒ ４ 年 度		目標値	44810 頭	目標値	44810 頭	目標値	44810 頭	目標値	44810 頭
	実績値	頭	実績値	46948 頭	実績値	35955 頭	実績値	頭	実績値	頭
	ストック/フロー	フロー	達成率	104.8 %	達成率	80.2 %	達成率	%	達成率	%
コ ス ト			最終現在予算額	115,340 千円	最終現在予算額	115,790 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	110,345 千円	決算額	108,555 千円	決算額	千円	決算額	千円

6年度		
要因分析	要因 前年度に過去最高のイノシシが捕獲できたことや山奥でイノシシのエサが豊富であったことから、里山へのイノシシの出没頻度が減少したことなどで、捕獲数が減少した可能性がある。ハンター養成塾やわな猟スキルアップ講座等を通じて捕獲者であるハンターの確保及び捕獲技術の向上により効率的な捕獲を推進する。	
	総括	
見直し方向性	維持	毎年の目標頭数を捕獲することで、対象獣類が減少傾向を示す可能性があるものであることから、現状を維持した上で事業を実施することが必要である。

33

12月補正後（追加）										
事　項	**施設園芸燃料高騰対策緊急支援事業費**								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	燃料価格の高騰が長期化している中、県内施設園芸農家の負担軽減を図るため、セーフティネット構築事業に加入している農家に対して、燃料に係る経費の一部を緊急的に支援する。								始期	R5
									終期	R6
Ｋ Ｐ Ｉ	**施設園芸セーフティネット構築事業への加入件数**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	62 件	目標値	67 件	目標値	件	目標値	件
	実績値	37 件	実績値	67 件	実績値	67 件	実績値	件	実績値	件
	ストック/フロー	フロー	達成率	108.0645161 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
コ　ス　ト			最終現在予算額	3,090 千円	最終現在予算額	7,860 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	2,262 千円	決算額	4,504 千円	決算額	千円	決算額	千円
6年度	要因分析	要因								
		総括 セーフティネット構築事業に加入している施設園芸農家67戸の支援を実施し、支援を受けた経営体は農業経営を継続している。また、持続可能な施設園芸に向けた取り組み（ハウスの多層被覆、植物生理にあった変温管理及等）により暖房の効率化を図ることで、R5年度と比較し燃料の使用量を約10%削減できた。								
	見直し方向性	廃止	事業期間の満了により廃止する。							

34

12月補正後（追加）										
事　項	**産地収益力強化支援事業費**								予算主管課	農産園芸課
事　業 概　要	産地パワーアップ計画に掲げられた施設・設備を整備することにより、地域の強みを活かした技術革新を促進し、産地収益力を高める。								始期	H28
									終期	R6
Ｋ Ｐ Ｉ	**産地パワーアップ計画に掲げられた施設・設備整備進捗率**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	%	目標値	%
	実績値	- %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%	実績値	%
	ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
コ　ス　ト			最終現在予算額	7,006 千円	最終現在予算額	126,000 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額	千円
			決算額	497 千円	決算額	99,000 千円	決算額	千円	決算額	千円
6年度	要因分析	要因								
		総括 産地パワーアップ計画に掲げられたかんきつ選果施設を整備することにより、地域の強みを活かした技術革新を促進し、産地収益力を高めることができた。								
	見直し方向性	廃止	事業期間の満了により廃止する。							